

やさいレポート (令和7年1月号)



にんじん



発行日：令和7年1月10日

1. 卸売価格の動向

○185 円/kg (1月7日)

➢ 平年比：141%

○1月の価格見通し

高値水準で推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○476 円/kg

(12月13日全国平均)

➢ 前月比：125%、平年比：143%

➢ 東京：237 円 (3本)

➢ 大阪：242 円 (3本)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：4/20 (前月 8/20)

➢ 大阪：2/10 (前月 3/10)

(機構調べ)

3. 家計消費動向

○222g/人 (11月全国平均)

➢ 前月比：88%

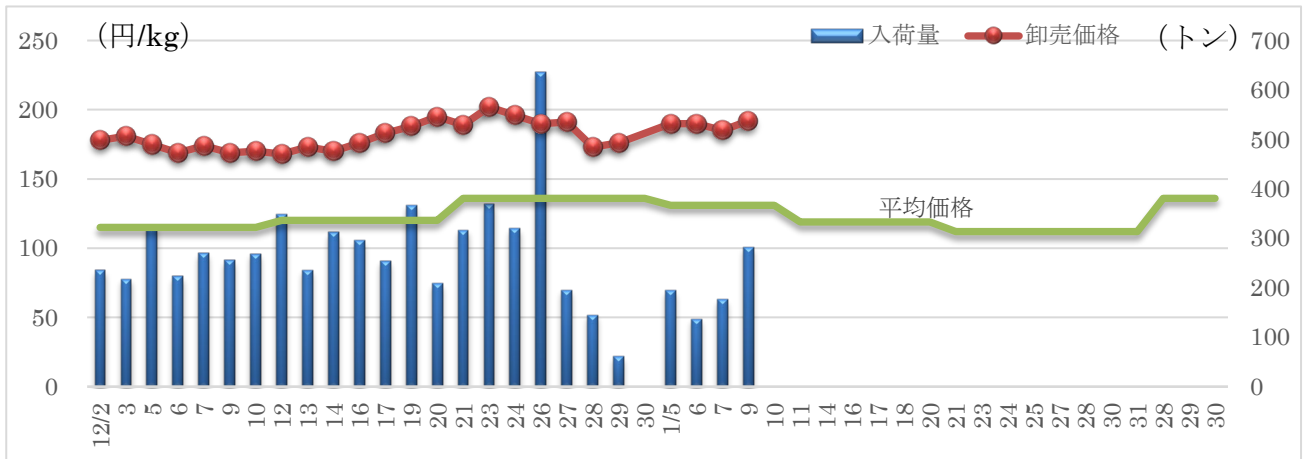
➢ 前年同月比：100%

○2,637g/人 (2023年年間)

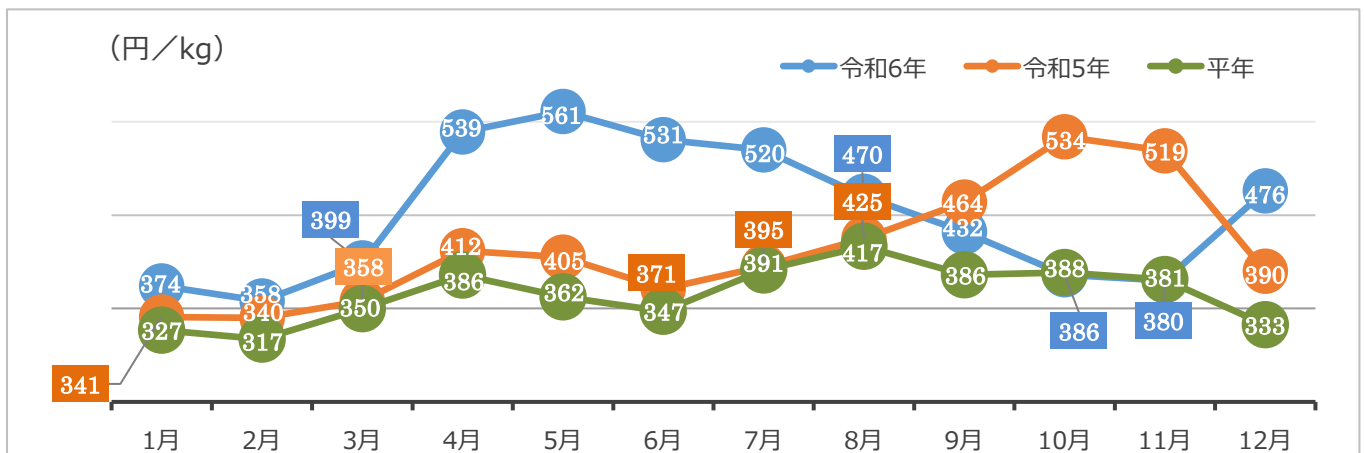
➢ 前年比：98%

(総務省統計局家計調査)

4. にんじんの入荷量と価格の推移 (東京都中央卸売市場)



5. にんじんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
茨城県鹿島 (12/18)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
静岡県大城 (1/7)	減少	—	平年並み	—
愛知県碧南 (12/11)	前年並み	不良	遅い	遅い
徳島県吉野川流域 (1/6)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
沖縄県糸満 (12/23)	前年並み	やや不良	遅い	—

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



茨城県鹿島：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (1/11~2/7)

		週別の天候		
1/11~1/17	北日本	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや霽の日の多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、平年と同様に曇りや霽または雨の日の多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日の多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日の多いでしょう。		
	西日本	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや霽の日の多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、平年と同様に曇りや霽または雨の日の多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日の多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日の多いでしょう。		
1/18~1/24	北日本	北日本日本海側では、冬の気圧配置となりにくいため、平年に比べ曇りや霽の日の少ないでしょう。 東・西日本太平洋側では、冬の気圧配置が緩いため、平年に比べ曇りや霽または雨の日の少ないでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日の多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日の多いでしょう。		
	西日本	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや霽の日の多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、平年と同様に曇りや霽または雨の日の多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日の多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日の多いでしょう。		
1/25~2/7	北日本	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや霽の日の多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、平年と同様に曇りや霽または雨の日の多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日の多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日の多いでしょう。		
	西日本	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや霽の日の多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、平年と同様に曇りや霽または雨の日の多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日の多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日の多いでしょう。		
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側	低10 並30 高60% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み
東日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並みか少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側	低20 並30 高50% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み
西日本	日本海側	低30 並30 高40% ほぼ平年並みの見込み	少40 並40 多20% 平年並みか少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並みか多い見込み
	太平洋側	低30 並30 高40% ほぼ平年並みの見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮にんじん)

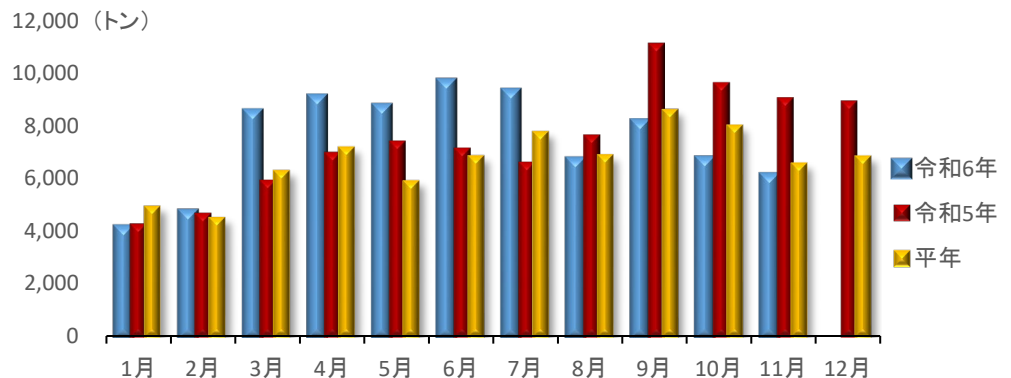
○6,107トン (11月輸入量) 12,000 (トン)

➢ 前年同月比：68%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 5,989トン
- 2位 オーストラリア 108トン
- 3位 米国 10トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

12月は、北海道産が終了し、千葉産が中心になる時期だが、8-9月の高温の影響で小ぶりのものが多く、需要期とも重なり高値で推移した。

1月は、千葉産に加え埼玉産も入荷する。干ばつの影響で細物が多く急激な数量増は見込めず、価格は平年を上回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793